

令和5年度「学習内容定着度調査」の結果概要について

宇都宮市立清原中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和5年度「全国学習内容定着度調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

1 目的

・「学習内容定着度調査」により、学習指導要領に示されている目標及び内容に基づいて、生徒の学力の定着状況を的確に把握し、個に応じた指導の充実を図る。市全体の結果を踏まえた上で、自校の結果を分析し、課題を明確にして、指導内容の重点化や指導方法の工夫・改善を図る。調査結果を基に生徒の学習の到達度を明確にし、本校の学習指導に生かす。

・「学習と生活についてのアンケート調査」により、生徒の学習に対する意欲や取組、生活状況や食事の様子等、学力の背景となる実態を把握する。調査結果と「学習内容定着度調査」の結果を併せて分析し、生徒の意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにすることにより、より一層の学力向上を図る。

2 調査期日

令和5年12月12日(火)・13日(水)

3 調査対象

第1・2・3学年 学習と生活についてのアンケート

第3学年 学習内容定着度調査(国語, 社会, 数学, 理科, 英語)

4 留意事項

(1) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

(2) 「本年度の状況」, 「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。